

麦類技術情報No. 5

平成29年4月19日

麦類栽培者 各位

JA 営農支援課
大潟村麦類生産班

麦類の生育状況と今後の管理について

現在の銀河のちからの生育は、葉齢や幼穂から見ますと平年並となっております。

減数分裂期(幼穂 30~50mm、葉耳間長-30~+30mm)は4月28日頃に迎えると思われます。また、圃場によっては生育のバラツキが見受けられますので、下記を参考に今後の管理に当たってください。

なお、現在の生育状況から見ると、小麦ネバリゴシの減数分裂期は5月2日頃と予想されます。

1. 4月17日現在の生育状況

| | 品種名 | 草丈 (cm) | | 茎数 (本/m ²) | | 葉令 (葉) | | 幼穂 (mm) | | SPAD | |
|---|--------|------------|------|---------------------------|-------|-----------|------|------------|-----|--------|------|
| | | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 | 本年 | 平年 |
| 小 | 銀河のちから | 25.8 | 27.9 | 768 | 967 | 10.5 | 10.6 | 8.0 | 8.0 | 49.5 | 45.2 |
| | 平年比 | 92.4% | | 82.1% | | -0.1 | | +-0 | | 109.5% | |
| 麦 | ネバリゴシ | 26.1 | 20.1 | 1,124 | 1,155 | 10.4 | 10.4 | 3.5 | 3.5 | 42.8 | 42.3 |
| | 平年比 | 129.9% | | 97.3% | | +-0 | | +-0 | | 101.2% | |

2. 肥培管理について

減数分裂期追肥は収量やタンパク含有量を増加させるため重要になります。各自圃場を確認のうえ尿素でN成分2~3kg/10aを目安に追肥を行ってください。

なお、銀河のちからは葉色(SPAD値)が55以上、ネバリゴシは45以上の圃場については、追肥を控えるようにしてください。

3. 現地講習会の開催について

先にご案内しましたとおり、4月24日(月)に現地講習会を開催しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

1. 開催日 4月24日(月)午後1時30分

2. 集合場所 JA会館1階

3. 講師 地域振興局 小林氏